

指宿市の観光統計

— 令和6年 —



～いぶスキップMAP～

タビマエ（旅行をする前）での情報発信強化や、タビナカ（旅行中）での利便性向上
を目的として、本市の魅力が一目で分かるデジタルイラストマップを制作。

観光、グルメ、宿泊情報など、指宿市内の約200スポットを登録。

指宿市観光課

令和7年7月作成

指宿市の紹介

指宿市は、平成 18 年 1 月 1 日に旧指宿市・山川町・開聞町の 1 市 2 町が合併し誕生した面積 148.82 k㎡、人口約 37,000 人のまちです。鹿児島県の薩摩半島南端部に位置し、鹿児島湾（錦江湾）から東シナ海に臨む長く美しい海岸線を有しています。市の全域を霧島火山脈が縦断しており、温泉の湧出量の豊富なことが全国に知られ、特に世界的にも珍しい「天然砂むし温泉」は、老若男女を問わず全国各地から、さらには一風変わった「和風サウナ」として海外からも多くの観光客が訪れます。

年間の平均気温は、暖流の影響で約 19℃と高く、温暖で亜熱帯的な気候のため、市内にはソテツが自生し、幸せを呼ぶ熱帯蝶のツマベニチョウが乱舞しています。農作物では、温暖な気候と泉熱を利用したソラマメやオクラ、スイカ、マンゴーなどのほか、熱帯性の観葉植物の栽培も盛んに行われています。さらには、この温暖な気候のもと、新春には日本で最も早く開催される日本陸連公認の市民マラソン「いぶすき菜の花マラソン大会」や指宿の町並みを楽しみながら歩く「いぶすき菜の花マーチ」など、年間を通じて様々なスポーツイベントが開催されます。

また、市内の各地には、自然や歴史・文化などに富んだ、魅力ある観光スポットが数多く存在しています。

まず、東には、天然砂むし温泉や温泉施設が多く立ち並ぶ温泉郷があり、北には桜の名所として知られる魚見岳や、毎年 3 月から 10 月の大潮または中潮の干潮時に陸地と砂州（愛称：いぶすき砂の道ちりりんロード）で繋がる、環境省の「かおり風景百選」に認定された知林ヶ島があります。

南東には、周囲約 4 km の神秘的な雰囲気漂う湖・鰻池があります。ほとりにある鰻温泉は、指宿市の中で唯一の単純硫黄泉で皮膚病に効果があるといわれ、西郷隆盛が逗留したことでも有名です。また、鰻節の最高級品と言われ、全国の約 7 割の生産量を誇る本枯本節の製造などが営まれる天然の良港・山川港もあります。

南には、薩摩富士とも称される日本百名山の一つ・開聞岳がそびえ、亜熱帯植物を中心に約 2,400 種 40 万本の花や樹木を植栽している国内最大級の花のテーマパーク・フラワーパークかごしまや JR 日本最南端駅である JR 西大山駅、竜宮伝説発祥の地とされる長崎鼻とその地に鎮座する龍宮神社があります。この竜宮伝説の玉手箱にちなんで、JR 指宿枕崎線では、平成 23 年の九州新幹線（鹿児島ルート）の全線開業に伴って運転を開始した、特急「指宿のたまて箱」が依然として高い人気を誇ります。

西には、回転式そうめん流しの発祥の地で、環境省が「平成の名水百選」に認定した京田湧水を有する唐船峡があります。

そして市の中央には霧島錦江湾国立公園の一部に指定されている九州最大の湖「池田湖」を有し、美しい自然や豊かな資源に恵まれています。池田湖は周囲約 15 km、最深部の水深 233m で、5,000 年以上前の火山活動によってできたカルデラ湖です。ここには体長約 1.8m、胴回り 50cm にもおよぶ大うなぎが生息しており、幻の怪獣イッシーも棲むといわれています。

さらに、池田湖や開聞岳を眺めながら、指宿の大自然をゆったり満喫することができます。池田湖観光施設公園「IKEDAKO PAX（いけだ湖パクス）」も賑わいを見せています。

このように、南国情緒豊かな変化に富んだ景観は、南九州地域の観光拠点としての役割も担っています。



目 次

1. 観光の動向	1
2. 調査目的	2
3. 調査要領	2
4. 入込観光客の概要	
表 1・グラフ 1 年別入込観光客数	3
表 2・グラフ 2 月別入込観光客数	4～5
5. 宿泊客数の概要	
表 3・グラフ 3・4・5 発地別宿泊客数・入込率・推移	6～7
表 4 国籍別外国人宿泊客数	6
表 5 月別外国人宿泊客数	6
表 6・グラフ 6 旅行形態別宿泊客数	8
6. 宿泊施設	
表 7 ホテル・旅館の登録別部屋別収容人員数	9
7. 観光施設等入込客数の概要	
表 8 年別観光施設等への入込客数	10
表 9 年別市観光施設への入込客数	10
表 10 月別観光施設等への入込客数	11
8. 主要イベント・祭り等	
表 11 主要イベント・祭りなどへの参加者数	12
9. 観光消費額	
表 12・グラフ 7・8 年別観光消費額	13～14
10. いぶすき観光ネット	
グラフ 9 年別閲覧ユーザー数	15
グラフ 10 月別閲覧ユーザー数	15
11. 観光関係団体一覧	
表 13 観光関係団体一覧	16

1. 観光の動向

令和6年の世界における国際観光客数は、世界観光機関（UN Tourism）によると、14億4,500万人（前年比10.7%増、令和元年比1.3%減）となり、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年水準まで回復した。

国内においても同様に回復しており、令和7年版観光白書によると、訪日外国人旅行客数は、3,687万人（令和元年比15.6%増）と過去最高となり、日本人の国内延べ旅行客数は5.4億万人（令和元年比8.2%減）とコロナ前の9割程度に回復した。さらに、延べ宿泊客数（日本人・外国人の合計）は6億5,028万人（令和元年比9.1%増）と過去最高となり、このうち日本人延べ宿泊客数は4億8,668万人（令和元年比1.3%増）、外国人延べ宿泊客数は1億6,360万人泊（令和元年比41.5%増）と過去最高となった。令和5年に引き続き、観光需要が回復する一方で、観光地や観光産業における人材不足や生産性の低さなど供給面の課題が顕在化しており、国は観光産業の収益力・生産性の向上と、地方を中心としたインバウンド誘客で都市部でのオーバーツーリズム防止の取組と消費額拡大を推進することとしている。

本市の入込観光客数を見ると、国内とは対照的に日帰り・宿泊客数共に前年比で減少となり、過去最高の宿泊客数となった国内と比べ、大きく回復が遅れている。日帰り客数においては、令和5年に引き続き、令和元年比で9割以上の数値であるが、宿泊客数は8割に満たない数値となっており、近隣市の宿泊施設の増加などで宿泊を伴わず、日帰りで訪れる観光客の比率が以前よりも増加していると考えられる。また、本市の観光産業においても、人材不足により受入人数の制限を行わざるを得ない状況があるなど、国内同様の課題を抱えている。

インバウンドについては、新型コロナウイルス感染症流行後に運休されていた鹿児島空港の国際線の定期便が再開されるなど、県内でもインバウンド需要の回復が見られている。本市においても、前年比では増加しているが、令和元年比では4割程度となっており、国内と比べ、宿泊客同様にインバウンドの回復も大幅に遅れている。また、本市へ来訪しているインバウンドの内訳は、新型コロナウイルス感染症流行前と変わらず東アジアからの入込客が大部分を占めており、今後、国際線の直行便数の拡充などにより、さらなる回復が期待される。

本市は令和5年3月に指宿市観光ビジョンを策定し、観光消費額を令和9年に対令和元年比2割増という目標を設定しているが、令和5年の観光消費額は、宿泊客やインバウンドが回復していないことから、令和元年比で7割に満たない数値となっている。さらに、宿泊・日帰り客の消費額単価も令和元年比で減少しており、単価の高いインバウンドも令和元年実績値まで回復していないため、目標到達までは現状から約2倍の増加が必要となっている。

市観光ビジョンの目標達成に向けて、令和6年では、インバウンド向けランディングページの作成や、いぶスキップMAP（デジタルマップ）の展開、市内事業者に対するSNSを活用したプロモーションの支援など、デジタル技術の活用による観光サービスの変革や新たな観光需要の創出に向けた取り組みを進めた。今後も、本市への来訪者の特徴を把握し、ターゲットに合わせたコンテンツの造成および販売の推進やインバウンド需要回復に向けた対応を進め、官民一体となって観光消費額の向上に取り組んでいく。

2. 調査目的

観光地指宿の具体的施策に対する基礎資料として、入込観光客数などを調査したもの。

3. 調査要領

(1) 市内の各宿泊施設、観光施設などの資料に基づく。

(2) 調査期間 : 令和6年1月1日～12月31日

(3) 調査対象

- ①宿泊施設（ホテル、旅館、民宿、ペンション、ユースホステル、キャンプ場、社会教育施設など）
- ②観光施設等（自然、文化・歴史施設、温泉・観光施設、スポーツ・レクリエーション施設、買物・食事施設など）
- ③主要イベント・祭りなど

(4) 入込調査の月別、地区別、種別などを調査事項としたもの。

4. 入込観光客の概要

令和6年は前年比で宿泊・日帰り共に減少した。減少要因として、令和5年中に鹿児島県により実施されていた「今こそ鹿児島の旅」などの旅行需要喚起策が終了したことが挙げられる。令和元年比では、日帰り客数は94%程度となっているが、宿泊客数は73%程度と差が生まれており、宿泊を伴う来訪客が以前より少ない現状となっている。

表1 年別入込観光客数

単位：千人

	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	前年比
宿 泊	683	645	646	682	614	340	260	388	480	451	94.1%
指宿地域	659	625	621	662	593	326	241	370	460	434	94.3%
山川地域	12	10	14	10	10	7	10	8	11	10	89.8%
開聞地域	12	9	11	10	12	7	9	10	9	8	85.1%
日 帰	3,144	3,048	3,176	3,295	3,096	1,956	1,932	2,454	2,977	2,909	97.7%
指宿地域	1,164	1,077	1,081	1,185	1,089	607	605	903	1,264	1,266	100.1%
山川地域	1,138	1,130	1,208	1,189	1,102	709	698	751	854	782	91.6%
開聞地域	841	841	887	921	905	635	629	801	859	861	100.3%
計	3,827	3,693	3,822	3,977	3,711	2,295	2,192	2,842	3,457	3,361	97.2%
対前年比		96.5%	103.5%	104.1%	93.3%	61.9%	95.5%	129.7%	121.6%	97.2%	

※四捨五入の関係で合計と合わないところもあります。 ※宿泊における連泊者は、延べ人数です。

※日帰りにおいては、観光地点ごとに集計した数値の合計であるため、実人数ではありません。

グラフ1 年別入込観光客数

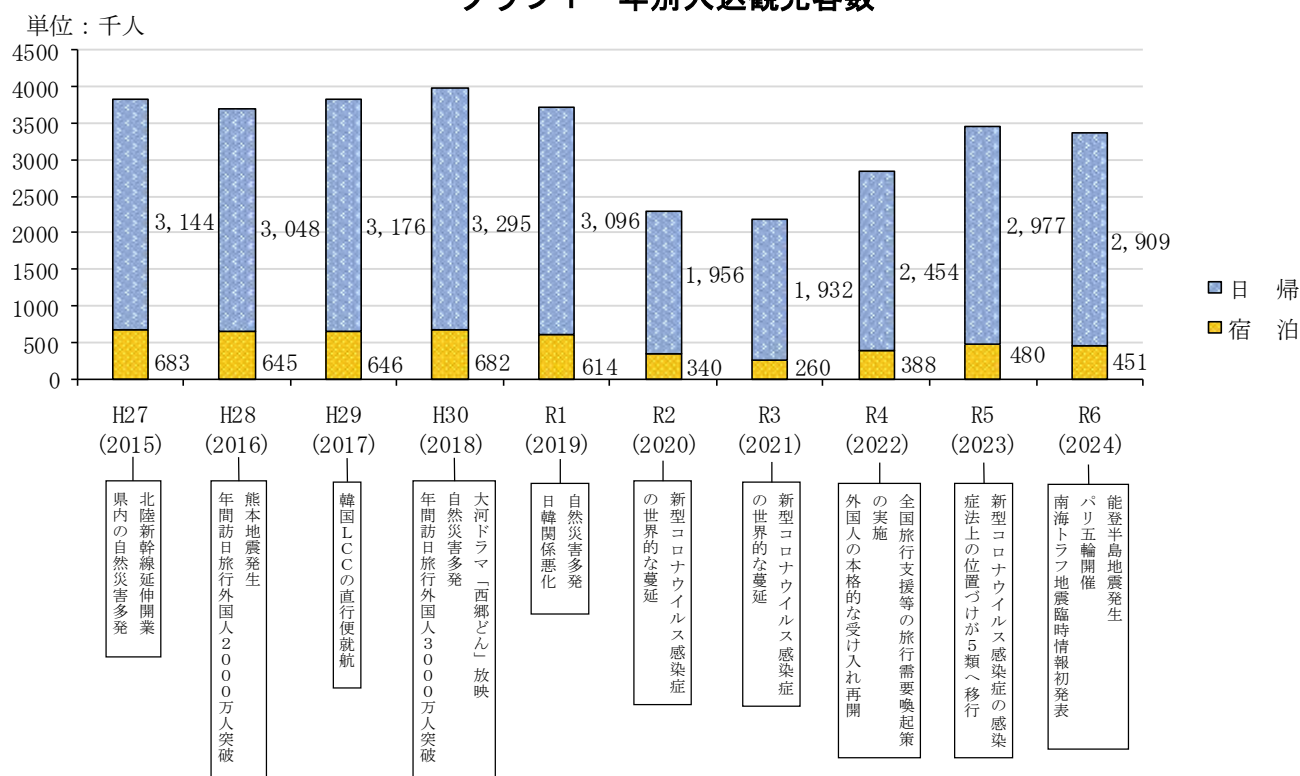


表2 月別入込観光客数

単位：人

			1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	計
宿泊	指宿地域	R5	32,036	35,957	49,415	34,696	43,945	31,940	29,775	42,366	33,037	44,868	46,949	35,031	460,015
		R6	33,952	34,860	45,673	36,626	40,803	27,059	27,297	41,048	29,143	37,286	44,326	35,845	433,918
	山川地域	R5	751	441	1,419	594	987	341	960	1,787	644	1,079	940	831	10,774
		R6	691	673	992	887	801	298	1,041	1,472	636	688	783	714	9,676
	開聞地域	R5	412	380	787	688	1,221	302	640	1,415	649	678	1,043	643	8,858
		R6	398	476	784	569	1,182	237	585	1,152	442	539	630	548	7,542
	合計	R5	33,199	36,778	51,621	35,978	46,153	32,583	31,375	45,568	34,330	46,625	48,932	36,505	479,647
		R6	35,041	36,009	47,449	38,082	42,786	27,594	28,923	43,672	30,221	38,513	45,739	37,107	451,136
	前年比		105.5%	97.9%	91.9%	105.8%	92.7%	84.7%	92.2%	95.8%	88.0%	82.6%	93.5%	101.6%	94.1%
日帰	指宿地域	R5	100,865	93,305	118,685	98,116	125,147	92,695	88,619	113,924	129,879	92,607	101,628	108,844	1,264,314
		R6	109,945	95,937	115,375	107,528	120,160	90,731	83,491	110,967	125,948	95,128	100,455	110,274	1,265,939
	山川地域	R5	67,906	69,327	76,168	69,962	84,651	86,337	56,602	69,823	59,383	64,324	69,129	80,193	853,805
		R6	68,597	69,350	76,624	73,247	90,205	77,297	43,777	58,303	46,079	49,284	57,667	71,603	782,033
	開聞地域	R5	193,466	38,438	50,003	66,373	69,179	47,022	73,497	122,690	62,378	51,780	44,725	39,395	858,946
		R6	209,875	43,969	47,327	51,165	67,582	48,881	69,944	123,047	58,763	53,637	43,762	43,476	861,428
	合計	R5	362,237	201,070	244,856	234,451	278,977	226,054	218,718	306,437	251,640	208,711	215,482	228,432	2,977,065
		R6	388,417	209,256	239,326	231,940	277,947	216,909	197,212	292,317	230,790	198,049	201,884	225,353	2,909,400
	前年比		107.2%	104.1%	97.7%	98.9%	99.6%	96.0%	90.2%	95.4%	91.7%	94.9%	93.7%	98.7%	97.7%
総入込		R5	395,436	237,848	296,477	270,429	325,130	258,637	250,093	352,005	285,970	255,336	264,414	264,937	3,456,712
		R6	423,458	245,265	286,775	270,022	320,733	244,503	226,135	335,989	261,011	236,562	247,623	262,460	3,360,536
前年比			107.1%	103.1%	96.7%	99.8%	98.6%	94.5%	90.4%	95.5%	91.3%	92.6%	93.6%	99.1%	97.2%

※宿泊における連泊者は延べ人数となっています。

※日帰りにおいては、観光地点ごとに集計した数値の合計値であるため、実人数ではありません。

グラフ2 月別入込観光客数

単位：人



※宿泊における連泊者は、延べ人数となっています。

※日帰り客については、各観光地点の入込客合計であるため、延べ人数となっています。

5. 宿泊客数の概要

<宿泊客数>

451 千人で前年比 5.9%（28 千人）の減。

発地別で比較すると、国内からの宿泊客は全地域において減。

<外国人宿泊客数>

30 千人で前年比 33.4%（7 千人）の増。

本市に多く来訪している 4 ヶ国が大幅に増。

<考察>

国内からの宿泊客において、昨年より入込客数が減少した。増加傾向にあった県外からの入込客数も全て減少となり、旅行需要喚起策の終了の影響も考えられる。また、外国人宿泊客は前年比では増加しているが、令和元年比では 40%程度であり、国内からの宿泊客の回復状況よりもさらに大きく下回っている。しかし、全国的には宿泊客が増加傾向であることから、地方部への誘客促進が課題と考えられる。

表 3 発地別宿泊客数

単位：人

	R5	R6	入込率 %	前年比 %
北海道	6,064	5,607	1.2%	92.5%
東北	7,978	6,885	1.5%	86.3%
北陸	6,219	4,401	1.0%	70.8%
関東	115,572	106,425	23.6%	92.1%
中部	42,818	38,459	8.5%	89.8%
近畿	79,538	74,447	16.5%	93.6%
中国	21,226	21,118	4.7%	99.5%
四国	6,739	5,683	1.3%	84.3%
北九州	53,508	49,719	11.0%	92.9%
南九州	35,465	33,080	7.3%	93.3%
沖縄	2,232	1,657	0.4%	74.2%
県内	79,823	73,691	16.3%	92.3%
外国	22,465	29,964	6.6%	133.4%
計	479,647	451,136	100.0%	94.1%

表 4 国籍別外国人宿泊客数

単位：人

	R5	R6	入込率 %	前年比 %
台湾	4,897	7,584	25.3%	154.9%
香港	5,564	7,256	24.2%	130.4%
韓国	3,747	5,272	17.6%	140.7%
中国	2,051	3,666	12.2%	178.7%
シンガポール	1,794	1,716	5.7%	95.7%
アメリカ	1,424	1,179	3.9%	82.8%
タイ	324	409	1.4%	126.2%
ドイツ	333	408	1.4%	122.5%
フランス	249	408	1.4%	163.9%
オーストラリア	289	352	1.2%	121.8%
カナダ	314	296	1.0%	94.3%
イギリス	237	232	0.8%	97.9%
マレーシア	281	196	0.7%	69.8%
スイス	109	132	0.4%	121.1%
ロシア	53	129	0.4%	243.4%
その他	799	729	2.4%	91.2%
計	22,465	29,964	100.0%	133.4%

※宿泊における連泊者は、延べ人数となっています。

表 5 月別外国人宿泊客数

単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R5	1,665	1,156	1,225	1,681	1,388	2,208	1,584	1,342	1,727	2,216	3,456	2,817	22,465
R6	2,762	2,714	3,192	3,082	2,464	2,357	1,596	1,334	1,814	2,411	3,116	3,122	29,964

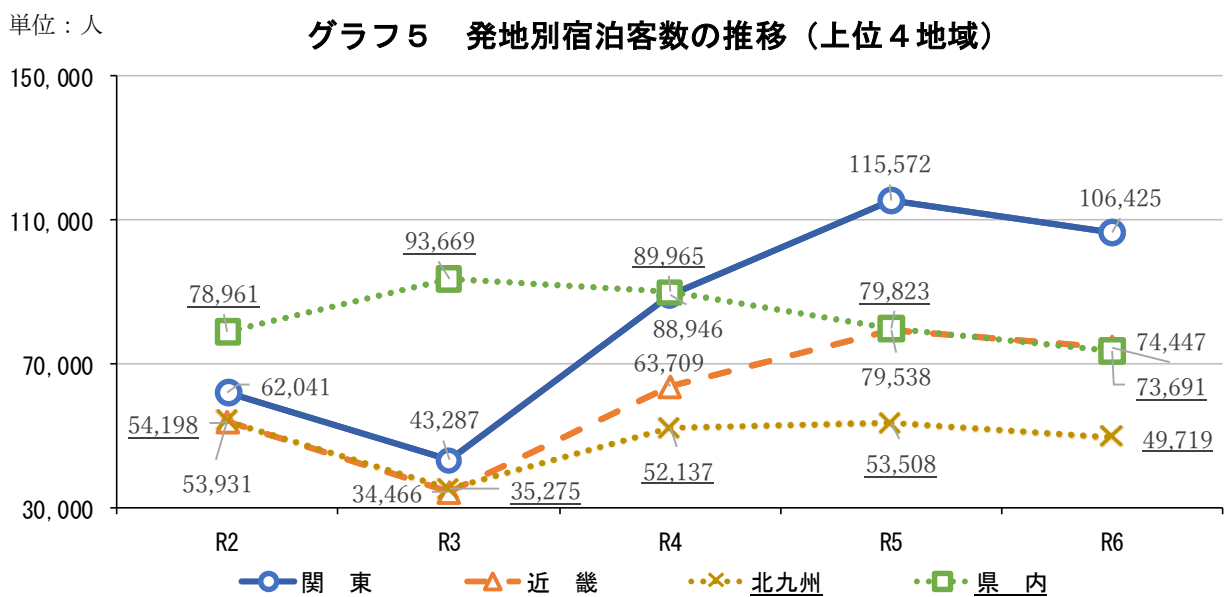
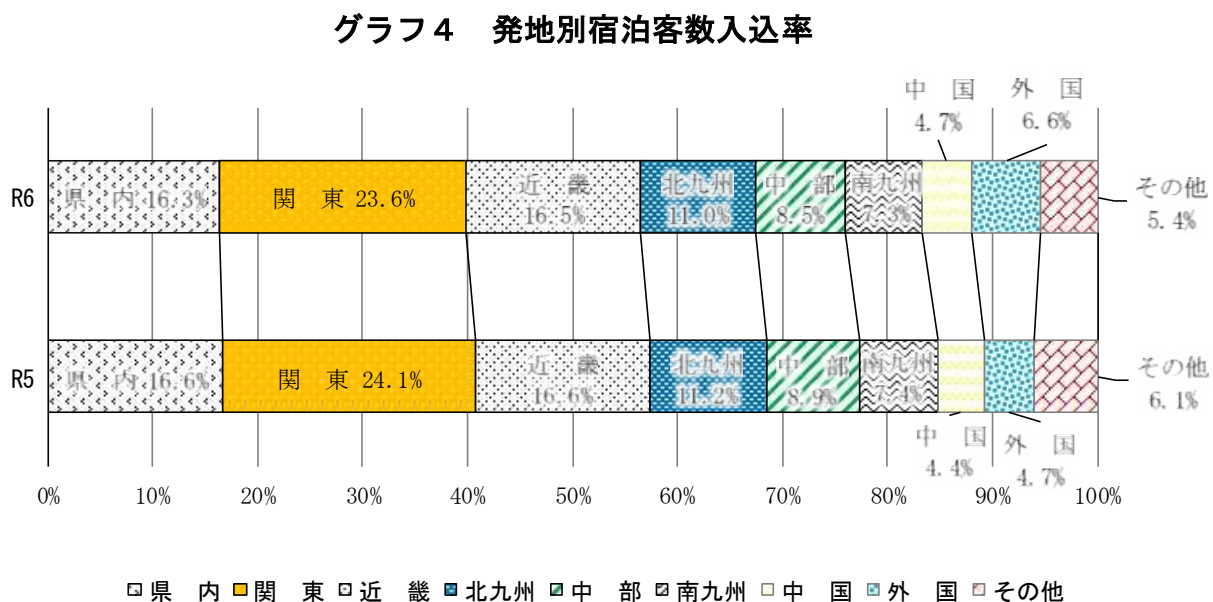
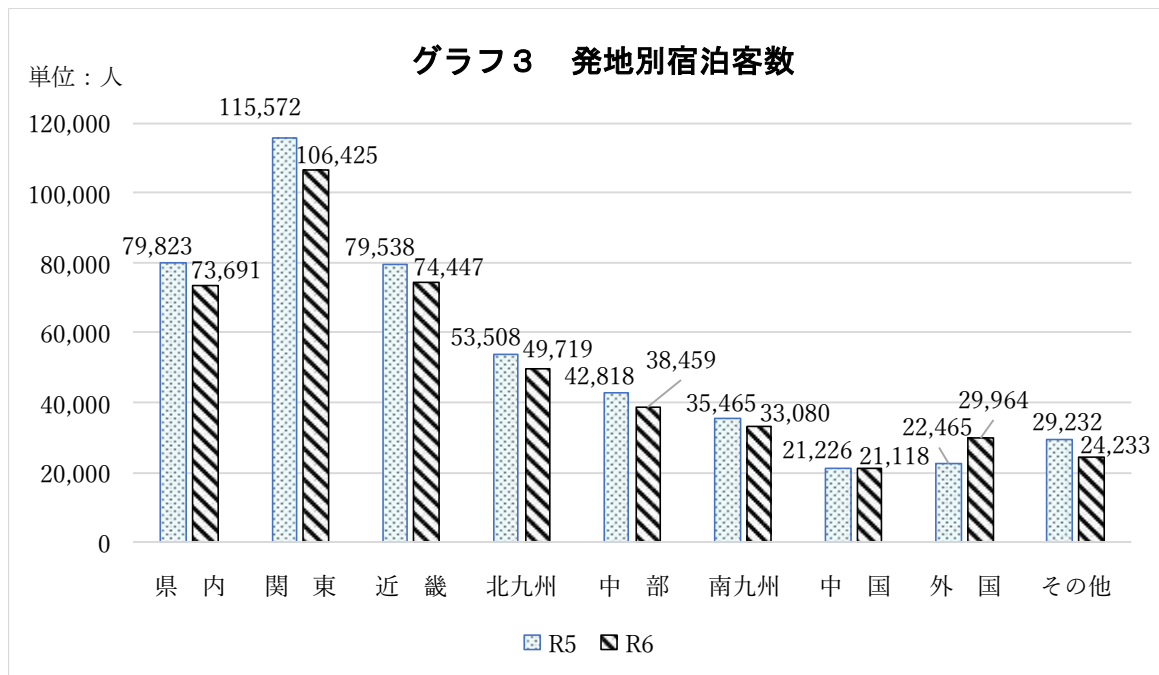


表6 旅行形態別宿泊客数

単位：人，％

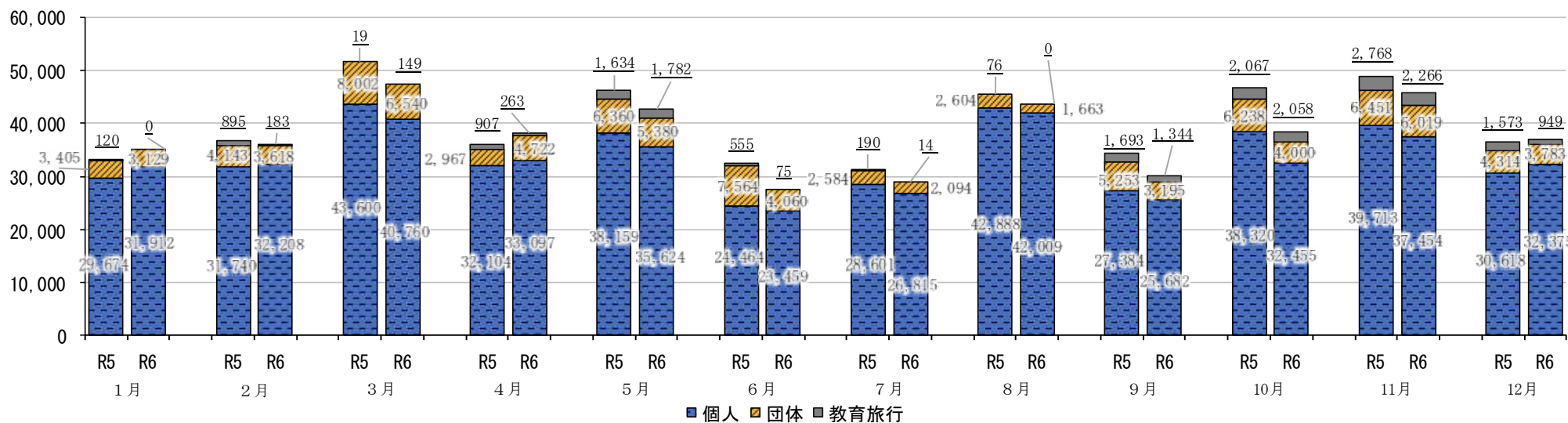
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R5	個人	29,674	31,740	43,600	32,104	38,159	24,464	28,601	42,888	27,384	38,320	39,713	30,618	407,265
	うち外国人	(1,443)	(988)	(910)	(1,300)	(917)	(1,406)	(1,495)	(1,276)	(1,296)	(1,723)	(2,582)	(2,432)	(17,768)
	(比率)	89.4%	86.3%	84.5%	89.2%	82.7%	75.1%	91.2%	94.1%	79.8%	82.2%	81.2%	83.9%	84.9%
	団体	3,405	4,143	8,002	2,967	6,360	7,564	2,584	2,604	5,253	6,238	6,451	4,314	59,885
	うち外国人	(222)	(168)	(315)	(381)	(471)	(802)	(89)	(66)	(431)	(493)	(874)	(385)	(4,697)
	(比率)	10.3%	11.3%	15.5%	8.2%	13.8%	23.2%	8.2%	5.7%	15.3%	13.4%	13.2%	11.8%	12.5%
	教育旅行	120	895	19	907	1,634	555	190	76	1,693	2,067	2,768	1,573	12,497
	(比率)	0.4%	2.4%	0.0%	2.5%	3.5%	1.7%	0.6%	0.2%	4.9%	4.4%	5.7%	4.3%	2.6%
	合計	33,199	36,778	51,621	35,978	46,153	32,583	31,375	45,568	34,330	46,625	48,932	36,505	479,647
R6	個人	31,912	32,208	40,760	33,097	35,624	23,459	26,815	42,009	25,682	32,455	37,454	32,375	393,850
	うち外国人	(2,385)	(2,451)	(2,211)	(2,192)	(1,803)	(1,697)	(1,461)	(1,111)	(1,331)	(1,843)	(2,351)	(2,399)	(23,235)
	(比率)	91.1%	89.4%	85.9%	86.9%	83.3%	85.0%	92.7%	96.2%	85.0%	84.3%	81.9%	87.2%	87.3%
	団体	3,129	3,618	6,540	4,722	5,380	4,060	2,094	1,663	3,195	4,000	6,019	3,783	48,203
	うち外国人	(377)	(263)	(981)	(890)	(661)	(660)	(135)	(223)	(483)	(568)	(765)	(723)	(6,729)
	(比率)	8.9%	10.0%	13.8%	12.4%	12.6%	14.7%	7.2%	3.8%	10.6%	10.4%	13.2%	10.2%	10.7%
	教育旅行	0	183	149	263	1,782	75	14	0	1,344	2,058	2,266	949	9,083
	(比率)	0.0%	0.5%	0.3%	0.7%	4.2%	0.3%	0.0%	0.0%	4.4%	5.3%	5.0%	2.6%	2.0%
	合計	35,041	36,009	47,449	38,082	42,786	27,594	28,923	43,672	30,221	38,513	45,739	37,107	451,136

※宿泊における連泊者は，延べ人数となっています。

※団体は15人以上のものとなっています。

グラフ6 旅行形態別宿泊客数

単位：人



6. 宿泊施設

<概要>

宿泊施設数は1軒減の52軒であった。内訳として、一般旅館等に1軒の減があり、全体の部屋数、収容人員についても減となった。

表7 ホテル・旅館の登録別部屋別収容人員数

単位：軒・室・人

R7.1.1 現在

種 別	軒数	部 屋 数				収容人員	
		和室	洋室	和洋室	計	一般	団体
政 府 登 録	2	134	240	1	375	650	650
政府登録・日旅協	7	295	137	170	602	2,179	2,117
日 旅 協	3	29	6	11	46	160	154
小 計	12	458	383	182	1,023	2,989	2,921
寮及び保養所	0	0	0	0	0	0	0
国民休暇村	1	30	11	15	56	157	180
ユースホテル	1	4	0	0	4	14	14
民 宿	14	47	16	4	67	193	195
ビジネスホテル	3	31	161	4	196	315	313
一般旅館等	9	101	86	24	211	523	573
小 計	28	213	274	47	534	1,202	1,275
一般宿泊施設計	40	671	657	229	1,557	4,191	4,196
湯治宿	3	15	1	0	16	35	40
研修施設	0	0	0	0	0	0	0
ペンション・ゲストハウス	7	36	18	12	66	197	203
キャンプ場	2	2	5	5	194 (サイト・棟)	1,052	1,052
小計	12	53	24	17	276	1,284	1,295
その他宿泊施設計	12	53	24	17	276	1,284	1,295
総 計	52	724	681	246	1,833	5,475	5,491

7. 観光施設等入込客数の概要

<観光施設の入込客数>

2,774 千人で前年比 2.4%（69 千人）の減。

<考察>

観光施設等の入込客数は昨年より減少した。ヘルシーランド温泉保養館とヘルシーランド露天風呂 たまて箱温泉が令和 6 年 6 月から休館したことが温泉・健康分野が大きく減少となった要因と見られる。しかし、砂むし会館「砂楽」では令和元年比 90%を超え、道の駅 2 施設は令和元年比でも増加となっており、日帰り来訪客数の回復傾向も見られている。

表 8 年別観光施設等への入込客数

単位：千人

	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
自然	213	426	386
文化・歴史	495	471	474
温泉・健康	373	466	401
スポーツ・ レクリエーション	192	180	178
都市型観光 －買物・食等－	1,047	1,218	1,246
その他	71	81	89
計	2,392	2,843	2,774
前年比		118.8%	97.6%
体験型観光客数	20	16	15

表 9 年別市観光施設への入込客数

単位：人

区 分	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
知林ヶ島	25,885	25,141	18,230
開聞岳	23,618	24,146	23,695
時遊館COCOはしむれ	31,774	27,092	27,372
砂むし会館「砂楽」	153,740	232,010	247,624
ヘルシーランド温泉保養館	92,622	103,813	45,603
ヘルシーランド 露天風呂 「たまて箱温泉」	59,754	66,367	31,380
山川砂むし温泉「砂湯里」	0	0	2,782
レジャーセンターかいもん	66,673	63,882	73,940
かいもん山麓ふれあい公園	44,536	35,789	32,220
かいもん山麓ふれあい公園 親水池	6,551	11,242	11,141
道の駅山川港 活北海道	407,889	472,446	484,530
指宿市営唐船峡そうめん流し	137,866	168,354	161,283
道の駅いぶすき 彩花菜館	387,825	442,377	468,579
池田湖	163,987	376,367	344,125
池田湖畔艇庫	1,898	3,302	1,452
計	1,604,618	2,052,328	1,973,956
前年比		127.9%	96.2%

※入込観光客数において、各観光地点の入込客合計であるため、延べ人数となっています。

※四捨五入の関係で、合計と合わないところもあります。

表 10 月別観光施設への入込客数 (祭行事・イベントは除く)

単位：人

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R5	自然	33,851	29,877	41,701	38,092	46,588	31,114	34,987	45,394	37,499	28,698	31,375	26,478	425,654
	文化・歴史	179,212	30,581	28,968	23,890	28,607	20,659	22,186	30,677	21,903	31,499	27,125	26,000	471,307
	温泉・健康	39,115	37,165	50,155	36,394	46,322	30,926	30,902	39,257	35,835	39,241	43,227	37,533	466,072
	ｽﾎﾟｰﾂ・レクリｴｰｼｮﾝ	16,085	17,475	14,949	15,381	21,466	7,881	9,897	20,865	8,169	10,842	10,667	26,184	179,861
	都市型観光 －買物・食等－	78,262	79,082	101,159	96,554	130,362	92,296	114,982	148,728	107,232	92,418	96,088	81,237	1,218,400
	その他	6,370	6,890	7,924	7,940	5,632	8,378	5,764	7,516	6,002	5,840	7,000	6,000	81,256
	合計	352,895	201,070	244,856	218,251	278,977	191,254	218,718	292,437	216,640	208,538	215,482	203,432	2,842,550
R6	自然	33,436	26,157	36,652	33,300	40,205	26,625	32,360	43,150	32,424	28,798	28,185	24,758	386,050
	文化・歴史	192,362	31,030	25,141	23,338	26,652	21,091	22,865	29,101	22,304	31,186	23,610	25,116	473,796
	温泉・健康	41,721	40,274	49,240	40,081	47,683	21,101	19,868	24,211	25,895	29,213	32,943	29,099	401,329
	ｽﾎﾟｰﾂ・レクリｴｰｼｮﾝ	13,562	15,546	13,257	16,151	24,766	7,809	9,741	21,097	7,835	9,696	11,511	26,773	177,744
	都市型観光 －買物・食等－	89,666	89,745	106,284	103,696	130,379	92,687	105,962	148,288	100,330	91,619	97,581	89,761	1,245,998
	その他	6,600	6,504	8,752	7,374	8,262	5,396	6,416	10,470	7,002	7,332	8,054	6,846	89,008
	合計	377,347	209,256	239,326	223,940	277,947	174,709	197,212	276,317	195,790	197,844	201,884	202,353	2,773,925
	前年比	106.9%	104.1%	97.7%	102.6%	99.6%	91.3%	90.2%	94.5%	90.4%	94.9%	93.7%	99.5%	97.6%

※入込観光客数において、各観光地点の入込客合計であるため、延べ人数となっています。

8. 主要イベント・祭り等

本市では、年間を通じて様々なイベントや祭りなどが開催されている。

ここでは、主に観光客が訪れるスポーツ・観光・産業イベントや祭りなどへの参加者数を調査したものである。

<概要>

令和6年の各イベントへの参加者数は昨年同様または増加しているものがほとんどとなった。また、オールドカーフェスタは悪天候の影響で大幅な減少となった。

表 11 主要イベント・祭りなどへの参加者数

単位：人

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	前年比
いぶすき菜の花マラソン大会	12,002	1,591 web 開催	1,325 web 開催	6,690	7,429	111.05%
いぶすき菜の花マーチ	5,753	155 web 開催	522 自主参加型	2,652	3,641	137.29%
アロハ宣言セレモニー&遊ぼ海フェスタ				1,200	5,000	416.67%
オールドカーフェスタ in指宿かいもん	中止	中止	中止	15,000	3,000	20.00%
いぶすきフラフェスティバル	中止	中止	3,088	6,800	9,200	135.29%
山川みなと祭り花火大会	中止	中止	800	8,000	8,000	100.00%
山川みなと祭り	中止	中止	中止	20,000	25,000	125.00%
かいもん夏祭り	中止	中止	4,800	14,000	16,000	114.29%
指宿温泉祭	中止	中止	15,000	15,000	15,000	100.00%
指宿市花火大会 (指宿温泉祭花火大会)	中止	会場無し で開催	10,000	20,000	20,000	100.00%
いぶすき産業まつり	中止	中止	23,000	25,000	23,000	92.00%
合計	17,755	1,746	58,535	134,342	135,270	100.7%

※イベント等の主催者・事務局等が発表した数です。

※参加者数が千人に満たないものは、掲載していません。

9. 観光消費額

<概要>

令和5年は、宿泊に係る県内の観光消費額単価は前年比で減少したが、県外は微増、外国人は大幅に増加した。全体の観光消費額は増加傾向にあるが、令和元年比では7割に満たない数値となっている。

<考察>

令和5年は観光消費額単価の高い県外および外国人観光客数が増加したことで全体の観光消費額は増加しているが、令和元年比で単価は減少、宿泊入込客数も8割程度で大きく差がある。引き続き観光消費額単価の高い県外および外国人の宿泊入込客数の増加が求められる。

表 12 年別観光消費額（推計値）

	観光消費額表（百万円）			対前年比	観光消費額単価表（円）	対前年比	入込客数（人）	対前年比
R 5 (2023)	宿泊	県内	1,670	74.6%	20,919	84.1%	79,823	88.7%
		県外	13,185	134.7%	34,939	105.7%	377,359	127.4%
		外国人	1,711	2727.5%	76,181	197.8%	22,465	1379.1%
		合計	16,566	137.1%			479,647	123.7%
	日帰り		8,818	115.3%	2,962		2,977,065	121.3%
	総計		25,384	128.6%			3,456,712	121.6%
R 4 (2022)	宿泊	県内	2,238	106.3%	24,871	110.7%	89,965	96.0%
		県外	9,785	174.5%	33,040	97.6%	296,168	178.7%
		外国人	63	1730.5%	38,519	104.1%	1,629	1662.2%
		合計	12,086	156.6%			387,762	149.4%
	日帰り		7,646	149.5%	3,115		2,454,426	127.0%
	総計		19,731	153.8%			2,842,188	129.7%
R 3 (2021)	宿泊	県内	2,104	118.3%	22,465	99.7%	93,669	118.6%
		県外	5,609	69.2%	33,837	104.7%	165,764	66.1%
		外国人	4	0.5%	37,000	48.6%	98	1.0%
		合計	7,717	72.5%			259,531	76.4%
	日帰り		5,114	90.0%	2,647		1,932,138	98.8%
	総計		12,831	78.6%			2,191,669	95.5%
R 2 (2020)	宿泊	県内	1,779	84.6%	22,535	101.3%	78,961	83.5%
		県外	8,103	51.7%	32,305	91.9%	250,824	56.3%
		外国人	761	13.3%	76,157	98.9%	9,989	13.4%
		合計	10,643	45.3%			339,774	55.3%
	日帰り		5,685	38.8%	2,907		1,955,622	63.2%
	総計		16,328	42.8%			2,295,396	61.9%
R 1 (2019)	宿泊	県内	2,104		22,243		94,599	
		県外	15,664		35,163		445,476	
		外国人	5,723		77,041		74,282	
		合計	23,491				614,357	
	日帰り		14,636		4,727		3,096,184	
	総計		38,127				3,710,541	

※観光消費額は、鹿児島県観光統計における各年毎の観光消費額単価をもとに、宿泊客（県内・県外・外国）、日帰り客ごとに独自に算出した推計値です。

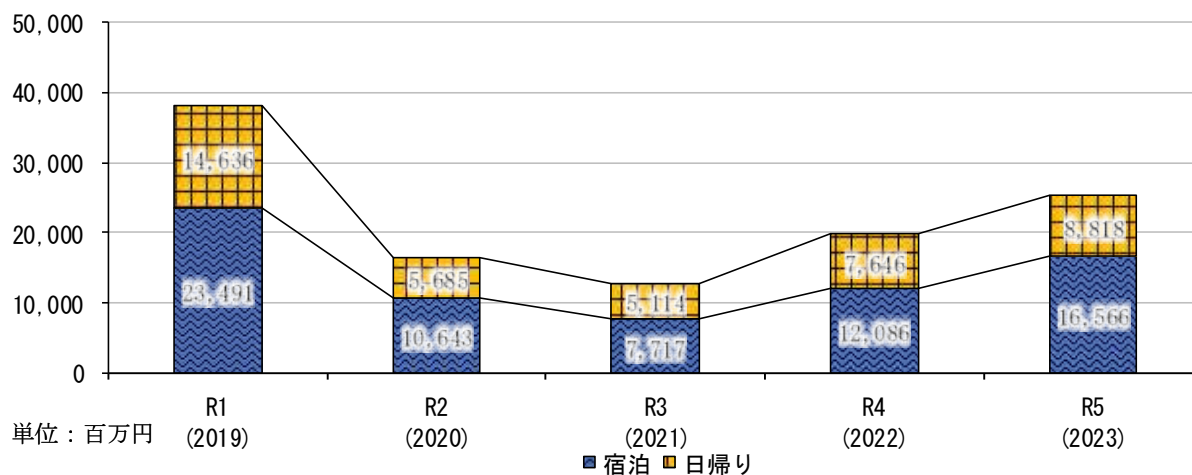
※外国人観光消費額単価は、宿泊・日帰りの内訳はありません。

※令和6年は、本統計資料作成時に観光消費額単価表が無いため、算出していません。

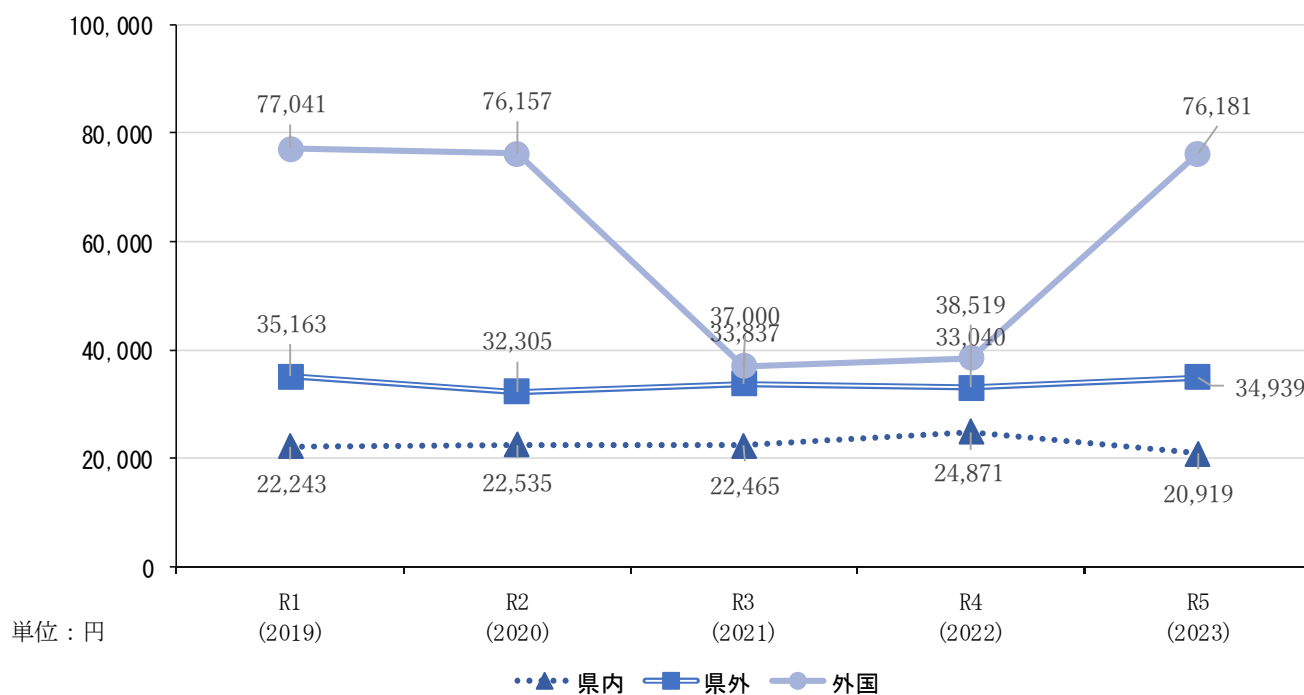
※日帰り客の区分は、情報収集していないため、合計日帰り客数に県内日帰り客消費額単価を乗じて算出したものです。

※観光消費額は百万単位以下を四捨五入して表示しているため、総計と合わないところもあります。

グラフ7 観光消費額比較グラフ



グラフ8 観光消費額単価推移



※県内・県外の観光消費額単価は、宿泊客のものです。

※外国人の観光消費額単価は、宿泊・日帰りの内訳はありません。

10. いぶすき観光ネット

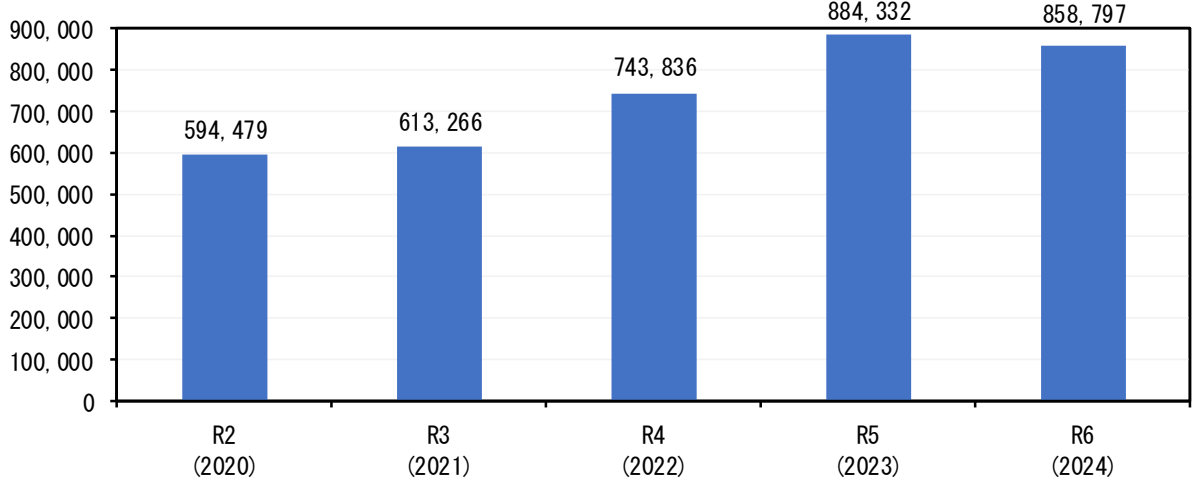
<概要>

令和6年は前年よりも閲覧ユーザー数が微減した。前年比では減少となったが、令和元年比では120%程度となっている。

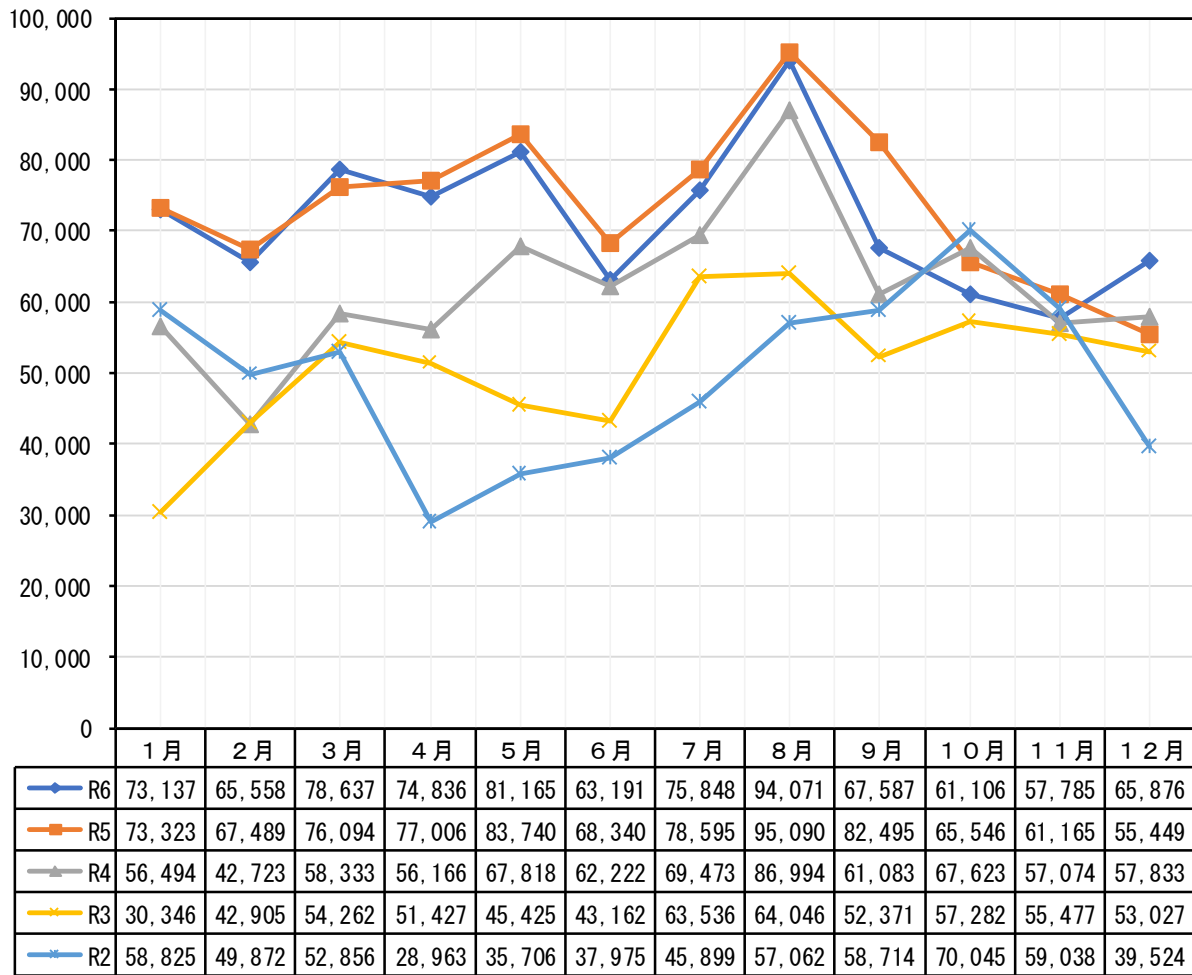
<考察>

令和元年比で本市の入込観光客数は減少しているが、いぶすき観光ネット閲覧ユーザー数は多いことから、旅行者の情報収集はインターネット利用が増加していると見られる。

グラフ9 年別閲覧ユーザー数



グラフ10 月別閲覧ユーザー数



11. 観光関係団体一覧

表 13 観光関係団体一覧

団体組織名	住所	電話 (0993)	FAX (0993)
公益社団法人指宿市観光協会	湊二丁目5-33	22-3252	22-3884
一般社団法人いぶすき観光デザイン	十町2424番地	23-1070	23-1073
一般財団法人指宿温泉まちづくり公社	湯の浜五丁目25-18	23-3900	23-4764
NPO法人指宿観光&体験の会	十二町高野原499番地	22-3827	22-3827

※掲載している団体は法人格（財団法人・社団法人・NPO 法人）を有しており、且つ指宿市内に住所を有している団体のみです。

参考資料

- ・ 鹿児島県観光統計（鹿児島県の観光の動向）
- ・ 観光白書（国土交通省）

～指宿市観光課公式 SNS～

■ Instagram

@Ibusuki_tourism



■ Facebook

@IbusukiCityKankou



■ X (旧 Twitter)

@ibusukikankou



■ LINE

@ibusuki_city



■ Threads

@ibusuki_tourism



指宿観光 HP 「いぶすき観光ネット」

<https://www.ibusuki.or.jp/>



令和 7 年 7 月作成